

【森のお話】
…コラム…

秋田スギ—雑感

森林総合研究所東北支所 森林資源管理研究グループ
西園 朋広

【スギと秋田地方】

スギは日本における代表的な林業樹種です。かつて、秋田は銘木として名高い天然秋田スギの生産地として名を馳せました。天然秋田スギだけでなく、スギの人工林面積においても秋田県は日本で一番の面積を誇っています（表1）。

表1 スギ人工面積のランキング

順番	都道府県	面積(ha)
1	秋田県	366,494
2	宮崎県	243,940
3	岩手県	205,028
4	青森県	199,850
5	福島県	184,770
6	鹿児島県	159,502
7	山形県	158,524
8	高知県	157,048
9	熊本県	155,352
10	大分県	152,540

森林資源の現況調査
(平成19年3月31日現在)より

スギの人工林面積の大きい都道府県をみると、東北、九州、四

国に分布しており、特に東北地方は全体的にスギ資源の多い地域であるといえそうです。

【秋田のスギはじわじわ伸びる】

このように、秋田地方は、昔からスギを育てて利用してきた地域です。では、スギにとって、秋田地方は生育に適した地域なのでしょう。植林してからの年数（林齢）と植林木の高さの関係を秋田、宮崎、高知と比較してみます（図1）。

そうすると、秋田のスギの若い頃の高さは他の地域と比べて小さく、最小の値を示します。しかし、歳を取るにつれて、他の地域の高さを追い抜き、最大の値を示すよ

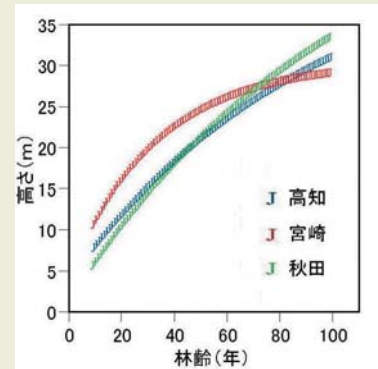


図1 スギ林の高さの成長
林野庁「長期育成循環施業に対応する森林管理技術の開発」より

うになります。つまり、秋田地方で育つスギはじわじわ伸びる、晩成型だといえそうです。

【歳をとると丸くなる】

ところで、秋田地方の高齢天然スギ林を訪れてみると、スギの特徴的なカタチを目にすることができま

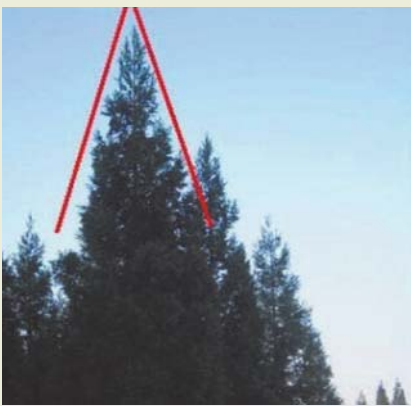


図-2 若いスギ：尖った樹冠

ます。若いスギの樹冠は円錐形と

ところで、秋田地方の高齢天然スギ林を訪れてみると、スギの特徴的なカタチを目にすることができま

植林されたスギで丸くなったものは、奥山に入らなくても、神社やお寺の側で見かけることができます。このような社寺林では長い時間をかけて、大切にスギを育ててきたのでしょう。ふとした道すがら、樹冠の丸いスギを見かけたら、確認してみてください。そこには気づいていなかった祠（ほこら）があるかもしれません。

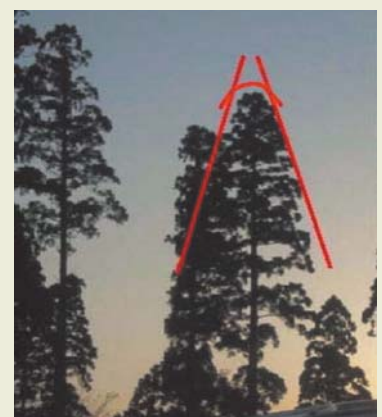


図-3 高齢スギ：丸い樹冠